

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 鈴茂器工株式会社

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小根田 育治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 藤田 進一

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,526	△7.7	76	△53.9	83	△51.7	45	△54.5
21年3月期第2四半期	2,736	—	164	—	172	—	100	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	9.19	—
21年3月期第2四半期	20.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	6,421	5,478	85.3	1,104.51
21年3月期	6,328	5,496	86.9	1,108.25

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,478百万円 21年3月期 5,496百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,480	4.3	365	33.6	365	29.1	209	23.6	42.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 4,960,000株 21年3月期 4,960,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 4,960,000株 21年3月期第2四半期 4,958,070株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 業績予想に関する事項につきましては3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計年度におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機を背景とした景気後退の影響を受ける中、国の経済対策の効果により一部に回復傾向が見られたものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷などにより、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、少子高齢化や所得の伸び悩みによる消費者マインドの低下により全般的に厳しい環境で推移しています。大手の回転寿司業態や寿司・弁当などの中食業態においては比較的順調に推移していると思われまます。しかしながら、店舗運営の効率化の観点から出店計画の見直しや、店舗の統合・退店などにより設備投資の抑制の影響が出てきております。

このような情勢の中、当社グループは、お客様の効率化・省力化にお応えできるよう、FOOMA JAPAN(フーマジャパン)やスズモフェアなどの展示会の開催やきめ細かい販売活動を展開いたしました。既存取引先は勿論のこと新規需要先の開拓についても積極的に販売活動を推進いたしました。海外については、為替市場の変動の影響を受ける中、アジア地域、オセアニア地域、ヨーロッパ地域を中心に販売活動を展開いたしました。また、当社100%子会社の株式会社セハージャパンについては、営業施策の徹底とともに積極的な販売活動を展開いたしました。アルコール系洗浄剤・除菌剤等の販売につきましては新型インフルエンザの影響もあり極めて順調に推移しております。

この結果、当第2四半期における売上高合計は25億26百万円(前年同期比7.7%減)となりました。製品内訳は、寿司・おむすびロボット等の製品売上高18億41百万円(前年同期比10.9%減)、炊飯関連機器および食品資材等の売上高6億24百万円(前年同期比1.2%増)、その他売上高60百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

また、利益につきましては、営業利益76百万円(前年同期比53.9%減)、経常利益83百万円(前年同期比51.7%減)、四半期純利益45百万円(前年同期比54.5%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し64億21百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1億2百万円、有形固定資産が59百万円減少した一方で、現金及び預金が1億94百万円、受取手形及び売掛金が81百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加し9億43百万円となりました。これは主に、買掛金が37百万円、未払法人税等が39百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し54億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、四半期純利益により45百万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想につきましては、前期の第4四半期からの業界全般の設備投資の抑制や販売競争の影響を受け、主力製品の寿司・おむすび兼用お櫃型ロボット「SSG-GT0」などの売上減少が余儀なくされ、減収・減益となりました。それに伴い、平成21年5月14日に公表いたしました第2四半期連結業績予想を同年11月5日付で変更いたしました。なお、通期の連結業績予想につきましては変更してございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,296,352	2,101,751
受取手形及び売掛金	807,309	726,180
たな卸資産	721,706	823,787
繰延税金資産	66,531	66,400
その他	39,567	65,963
貸倒引当金	△968	△988
流動資産合計	3,930,499	3,783,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,017,859	1,045,241
土地	766,170	766,170
その他(純額)	121,015	153,586
有形固定資産合計	1,905,044	1,964,999
無形固定資産		
のれん	26,118	29,849
その他	49,272	53,279
無形固定資産合計	75,391	83,128
投資その他の資産		
投資有価証券	236,525	217,474
繰延税金資産	122,450	129,530
その他	165,352	164,132
貸倒引当金	△13,280	△13,519
投資その他の資産合計	511,047	497,617
固定資産合計	2,491,483	2,545,744
資産合計	6,421,983	6,328,839
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,924	191,959
短期借入金	25,040	29,040
未払法人税等	42,762	3,219
賞与引当金	113,613	111,132
その他	187,520	166,045
流動負債合計	598,860	501,396
固定負債		
長期借入金	3,240	5,760
退職給付引当金	246,569	230,685
役員退職慰労引当金	3,733	75,163
その他	91,199	18,936
固定負債合計	344,742	330,545
負債合計	943,602	831,941

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,476,976	4,505,809
株主資本合計	5,448,026	5,476,859
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,353	20,038
評価・換算差額等合計	30,353	20,038
純資産合計	5,478,380	5,496,897
負債純資産合計	6,421,983	6,328,839

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,736,535	2,526,794
売上原価	1,543,456	1,411,815
売上総利益	1,193,079	1,114,978
販売費及び一般管理費	1,028,193	1,038,915
営業利益	164,886	76,063
営業外収益		
受取利息	2,112	3,178
受取配当金	1,605	1,609
保険解約返戻金	3,224	—
受取保険金	—	1,450
その他	2,269	2,475
営業外収益合計	9,212	8,714
営業外費用		
支払利息	355	260
手形売却損	452	371
売上割引	—	688
その他	527	0
営業外費用合計	1,335	1,320
経常利益	172,763	83,457
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,568	—
特別利益合計	3,568	—
特別損失		
有形固定資産除却損	16	264
特別損失合計	16	264
税金等調整前四半期純利益	176,315	83,192
法人税等	76,194	37,625
四半期純利益	100,121	45,567

【第2四半期連結会計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,397,530	1,347,463
売上原価	785,203	757,263
売上総利益	612,327	590,200
販売費及び一般管理費	507,616	510,680
営業利益	104,710	79,520
営業外収益		
受取利息	1,052	1,582
受取配当金	450	335
保険解約返戻金	3,224	—
その他	1,098	1,618
営業外収益合計	5,826	3,536
営業外費用		
支払利息	180	129
手形売却損	171	188
売上割引	—	400
その他	298	0
営業外費用合計	649	718
経常利益	109,886	82,337
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,568	—
特別利益合計	3,568	—
特別損失		
有形固定資産除却損	16	224
特別損失合計	16	224
税金等調整前四半期純利益	113,438	82,113
法人税等	49,156	35,793
四半期純利益	64,282	46,319

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし